



海上防衛における潜水艦の役割 潜水艦教育訓練隊

安全保障における防衛力

- 平時
敵が我が国に侵攻しようとするのを断念させるための「抑止力」。
➡ 「強そうだな～」と思わせること！
- 有事
敵の侵攻を阻止し、排除する力。

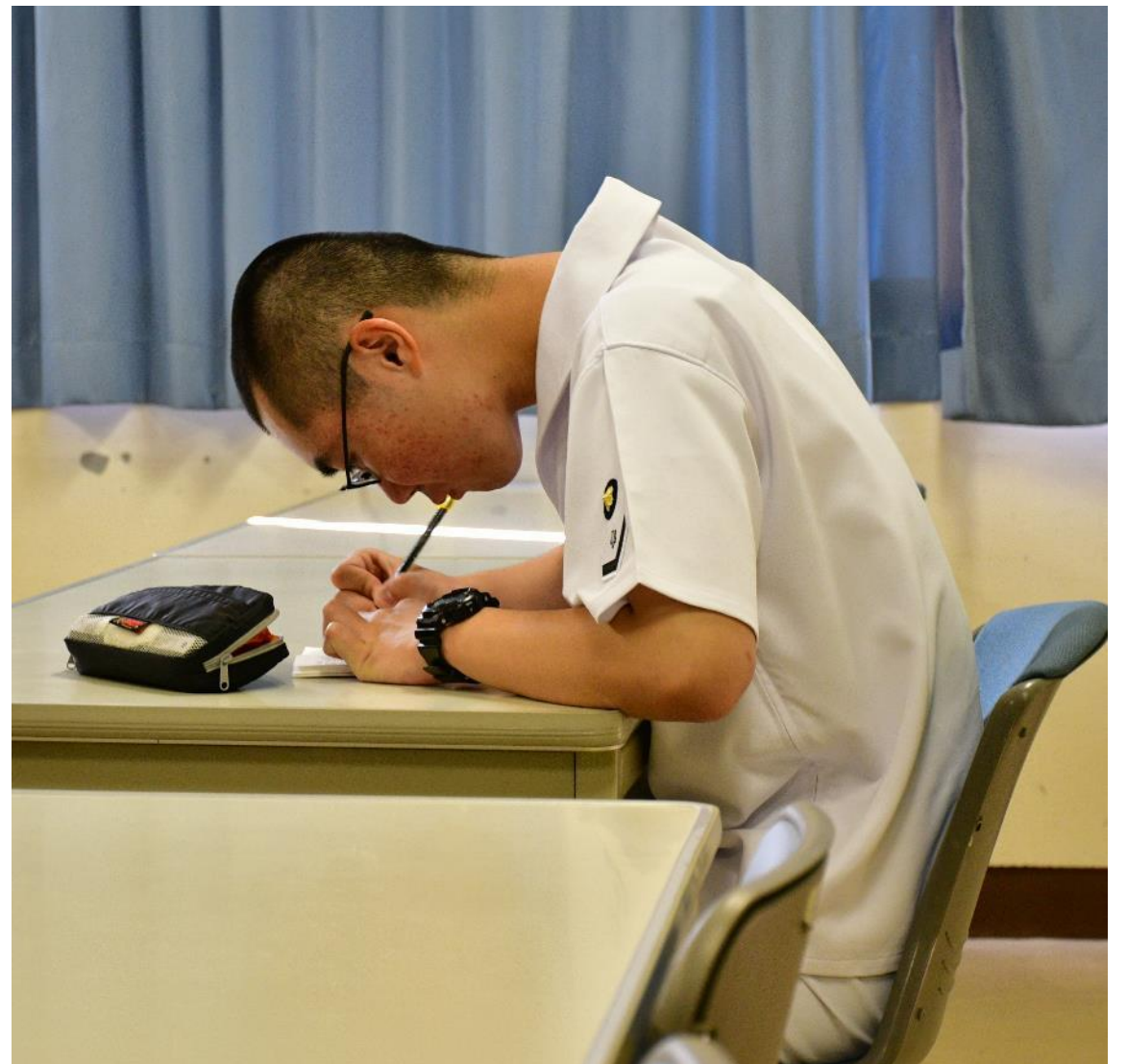
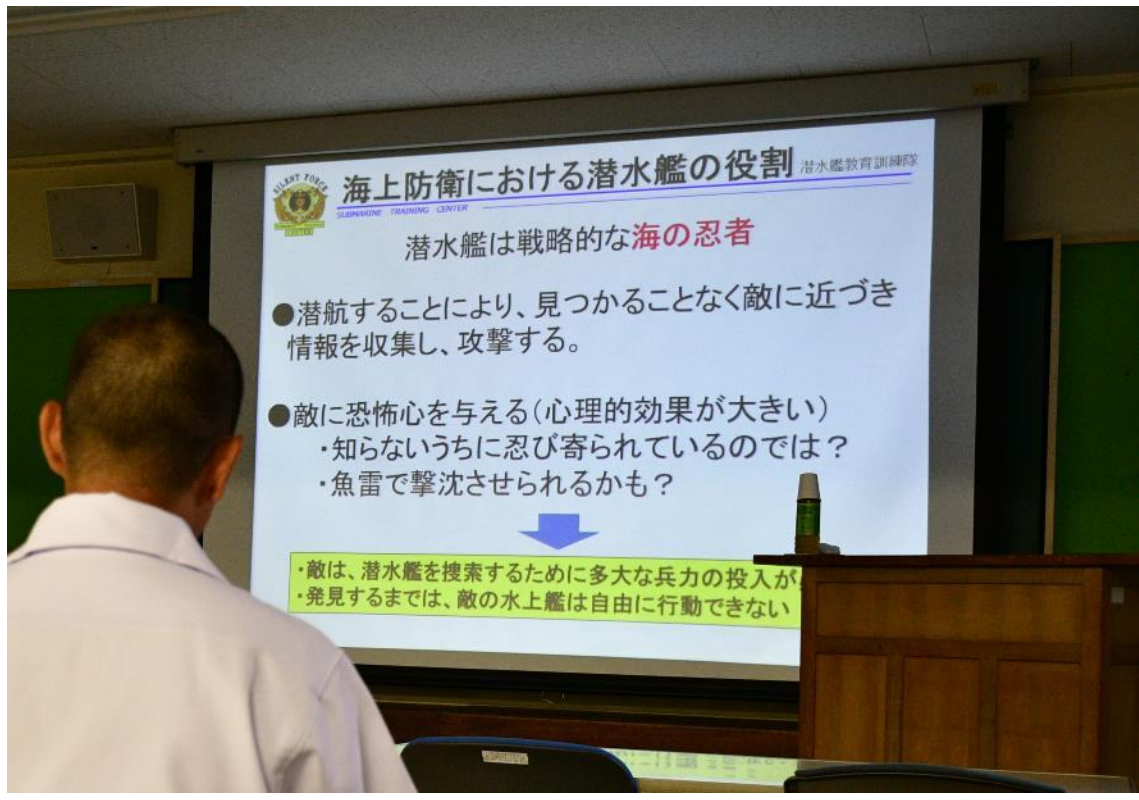
潜水艦教育訓練隊司令講話

令和5年10月6日

潜水艦部隊は水上艦艇部隊、航空部隊と比べて規模こそ小さいものの、海上防衛において果たす役割は決して小さくありません。

潜水艦はその高い隠密性、攻撃力から海域に1隻いる（いるかもしれないと思わせる）だけで敵の脅威となる重要な戦力の一つです。

若い力の確保のために潜水艦教育訓練隊司令が教育隊に来隊し、潜水艦勤務・生活の実態について説明しました。





潜水艦乗り以外の隊員にとって、その勤務状況や生活については謎に包まれていることが多い、私が知っていることも、手当が良い、ご飯が美味しい、音を立ててはいけないということぐらいです。本講話は現場の人から直接話を聞くことができる貴重な機会であり、学生達も興味津々な様子で聞いていました。講話の後の質問タイムでも質問攻めで、学生達にとって内容の濃い有意義な時間になったと思います。今期学生の中から何人かは潜水艦乗りとして活躍してくれるのではないのでしょうか。